

# 横浜市立菅田中学校 令和2年度 豊かな心の育成推進プラン

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○生徒一人ひとりが生き生きとした学校生活を過ごすよう、教職員が組織的・重層的に指導を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が常に授業改善に努め、他と協働し、正しく考え、判断し、行動する力を伸ばす授業を実践します。</li> <li>・併設型小中一貫校の強みを生かし、英語の乗り入れや教育課程の編成等を通して組織的・計画的・継続的にブロック内の小学校と共に9年間で育てる子どもの育成をめざします。</li> <li>・社会の一員として人とのつながりを重視し、自分も他人も大切にする心と地域や社会と積極的に関わろうとする生徒の育成を図ります。</li> <li>・学習状況調査結果をもとに学習のつまずきを分析し、学習方法の改善と学習習慣の定着を図ります。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>豊かな心</b>	道徳教育の充実を図り、集団生活、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、思いやりや礼儀を大切に、自分の行動に責任をもつ姿勢を育てる。	①学年職員それぞれが、年間1回以上道徳指導案を作成し授業を行う。 ②朝読書の時間を設定し、豊かな情操の育成を図る。 ③「あいさつ運動」を実施する。
担当	学習指導部	

## 2 生徒の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

全体的に人懐こい生徒が多く、コミュニケーションを積極的に図ろうとするが、相手の気持ちを考えずに言葉を発したり、場面の状況が読み取れない発言などが多いので、言葉の使い方や思いやりの気持ちを育てる必要がある。また、集団生活、社会生活に必要なルールやマナーを更に高めながら、何事にも責任と自覚をもって行動し、家族・地域・社会の一員として行動できるように指導していきたい。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

<b>指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間において言葉によるコミュニケーション能力を高めるために、言語活動を多く取り入れる。例えば班ごとの討論の場面を設け、全体に発表する機会を多く作り、相手に自分の気持ちをしっかり伝えられるようにする。【視点1】</li> <li>・面談などで振り返りシートや自己評価を保護者にも提示し、家庭との共通理解を図る。【視点1】</li> <li>・学年職員が年間1回以上道徳指導案を作成し、学年ごとその授業を実施する。【視点1】</li> </ul>
<b>指針2 工夫を凝らした体験的な学習の実践</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症防止の対策を講じながら、工夫を凝らした可能な限りの体験的な活動を検討し実施する中で、様々な考え方や価値観を学び、自らの思いや考えを持てるようにする。【視点4】</li> <li>・授業や学校行事の行い方を工夫し実施する中で、思いやりの心や集団生活、社会生活に必要なルールやマナー、望ましい勤労観や職業観について自分の意見をもって考えていけるようにする。【視点4】</li> </ul>
<b>指針3 確かな人権感覚・意識の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の一つとして、人権の木制作などに取り組むと同時に、学校の教育活動全体の中で常に自分と他者の人権を大切にする意識を持つように指導していく。【視点6】</li> <li>・学校全体道徳を実施し、全校で人権について考える時間を作り、人権感覚を育てる。【視点6】</li> </ul>